

浜寺ボート (大阪府堺市)

カッターボートの製造を開始、提案型のレストア事業も伸張

浜寺ボートが製造している6mカッターボート。細部にもこだわりが感じられる



大阪府堺市にある浜寺ボート(浜寺産業株式会社)。4艇同時に整備可能な工場と最大70艇収容できるマリナを持ち、中古のヨット、ボート、エンジンの販売、カッターボートの製造のほか、オーナー艇のレストア、陸送、マリナ保管など複数の事業を展開している。マーケティング統括責任者の田中龍介氏に話を聞いた。

「昨年、弊社では新艇事業である『カッターボート』を初めて販売し納艇しました。デッキとハルのモールド(型)を所有し、自社で一貫して製造しています。工場に製造中のボートが並んでいる状況に、『浜寺ボートは造船所なの?』なんてお客様に聞かれたこともあります。確かにそのような光景を見ると、造船所と言えなくもないですね」

昨年に製造した3艇のカッターボートは、現在横浜に浮かんでいる。取材時も工場では新しいカッターボートが2艇製造されていた。5年ほど前に、愛知県にあった造船所からこのカッターボートの製造事業を引き継ぎ、オールやラダーなどのパーツの販売や修理等に対応してきた。また試作艇の製造なども続け、受注態勢を整えてきていた。

このカッターボートだが、ただの手漕ぎボートと侮ることはできない。材質はもちろんFRP製で、ハルはRTMと呼ばれる工法。デッキはおなじみのハンドレイアッ

プ工法で作られている。係船具やスタンションなどの艀装品も、マストやパルピットなどを製造する会社から取り寄せているとのことだ。

「中古艇の再生、販売を長年続けてきたなかで、船を造ることが特別なことだという認識はありません。FRP成形やデッキ艀装などは日常の仕事のなかで行っていることですし、例えばデッキ塗装などはもう一度船のデッキを作り直すようなものですから」

カッターボートの商品ラインナップには、漕走タイプだけではなく、マストとセールをセットアップした帆走タイプもある。一方で、メイン事業である中古艇の販売や再生事業からも、新しいケースが生まれていることが感じられるようだ。

「オーナーさんが船を個人売買で購入し、それを持ち込んで希望しているレストア作業を行う、という依頼がたて続けにありました。これまではエンジンの換装やリギンの交換といった具体的なレストア項目が提示されていたのにくらべ、少し抽象的な内容になっています。例えば『10年間、安心して乗れるようにしてほしい』とか、『海上別荘生活をしたい』という内容です。おそらくホームページやfacebookなどで弊社のレストア事例の紹介をしている中で、トータルのレストアが可能であると感じていただけているのだと思います」

個人売買が増えている中で、船をイン

ターネットで全国から探すことは簡単な時代。しかし、そこで気に入った船を購入できたとしても、そのまま乗っても大丈夫かという不安や、少なくともハルだけは綺麗にしたいといった希望を、自分の力だけで解決することは非常に難しい。そうした課題を感じた時、長年にわたって多くの中古艇の再生と販売をしてきた浜寺ボートは心強い味方になってきている。最後に読者の方にアドバイスを伺った。

「年齢に合わせた船の艀装を考えてほしいですね。例えばライフラインをゲートスタンション仕様に変更するだけで、乗り降り非常に便利になるだけでなく、けがをする可能性は低くなります。離着岸の時に足をひっかけたり、重たい荷物を持ってライフラインをまたぐ時にヒヤッとした経験をした方は多いと思います。小さなことが思わぬ大きなトラブルにつながりますから、それを少しでも減らす工夫が、船を楽しく長く乗るうえでは必要です。ヨットの場合、セールを快適にあげるシステムを構築することも大事。電動ウインチやストロングトラックなどのアイテムで解決する方法もありますが、例えばシーブ等のマスト艀装を分解、洗浄してグリスアップする、ハリヤードを1サイズ細くして材質を変える。こんな単純な変化で、驚くほどセールをあげるのが楽になります。いろんな方向から解決できますので、ぜひご相談ください」



デッキ塗装作業中のスタッフ、経験がモノを言う大変な作業だ



変更依頼が多いという、ゲートスタンション仕様になったライフライン



中古エンジンの販売も行うため、換装やオーバーホールの依頼も多い



通信販売事業もスタート、ロープ類の販売なども行っている